山紫海碧（やま むらさきに うみ あおく）

第３９号
東村立有銘幼・小学校
令和４年１月２８日（金）
発行者：園長・校長　平良　智

国頭地区初任者研修（国頭教育事務所主催）
有銘校の複式授業を参観！（オンライン）

27 日（木）に、国頭教育事務所主催の国頭地区初任者教諭 28 名に向けての、「へき地教育」研修会が開催されました。この研修は、教師 1 年目の先生方に、「へき地校の現状と魅力」を伝える目的で行われているもので、国頭地区にあるへき地校 20 校の代表として、本校 5･6 年担任の劉愛南先生が示範授業を公開しました。本来なら初任者の先生方が来校し、直接授業を参観する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、急遽前日に授業風景を録画したものを研修会で参観する形となりました。

授業は、5･6 年生複式の国語の授業でした。1 時間に、2 つの学年の授業をする複式授業のイメージが湧かない先生方が多い中、愛南先生の授業は新鮮な驚きを与えたようです。日頃から教材研究を深め、授業実践している愛南先生ですが、複式授業の方法のみならず、今回はタブレット端末を有効活用した授業にもチャレンジしました。普段からよくタブレットを活用し、使いこなしているので、子供達のスキルの高さにも先生方は驚いていました。自分の考えを入力し、それを学年のみんなと端末上で共有、そしてそれについて友達へアドバイス、感想を入力し送信するなど、ICT 授業の一つの提案も出来ました。

教師 1 年目の先生方が、この 1 年教育実践をしながら、多くの学びを研修として積み上げ教師力向上に努めています。これからの国頭地区の教育を背負う先生方に、愛南先生は先輩教師としてとてもすばらしい実践授業を示範できました。

私からも校長講話として「へき地校の現状と学校経営」というテーマでお話をしました。今年度の有銘校の実践、魅力を伝え、へき地校異動の際は、ぜひ「有銘校」をとアピールしました。

愛南先生、5･6 年生のみなさんナイスチャレンジでした！